

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた公共施設利用時の感染症対策チェックシート

皆様の安全を確保し、施設を安心して利用していただくために、施設利用者の方に、チェックシートのご記入をお願いしています。下記事項をご確認のうえ、右欄にチェック(✓)していただき、新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力ください。

体調・行動歴	✓欄
利用当日の体温に異常がない（平熱より1度以上の熱がない）。	
利用日前2週間において以下の事項に該当しない	
・だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がない	
・においや味がいつもと違う等の嗅覚や味覚の異常がない	
・体が重く感じる、疲れやすい等の症状がない	
・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない	
・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない	
・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がない	
基本的な感染予防策の徹底	✓欄
マスクを着用する（咳エチケット）	
こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する	
利用終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、施設管理者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する	
新型コロナウイルス感染の疑い等がある場合、利用者全員に連絡をとることができる。 ⇒できない場合は、名簿の作成及び提出をお願いします。	
「3つの密」を避けるための工夫	✓欄
①「密閉」空間にしないよう、こまめな換気を！ 定期的に換気を行う。 〈対応例〉・2方向の窓を、1時間に1回以上、数分間程度、全開にする。 ・窓が1つしかない場合は、ドアと窓を開け、空気の流れをつくる。	
②「密集」しないよう、人と人の距離を取りましょう！ 他の人と接触しない距離を取る。 〈対応例〉・隣の人と一つ飛ばしに座る。真向かいに座らず、互い違い座る。 ・椅子の数や配置を工夫して、十分な距離を保つ。 ・他の人との接触、人が混み合う状態を避ける。	
③「密接」した会話や発声は、避けましょう！ 近距離での会話や発声により、他の人へ飛沫を飛ばさない。 〈対応例〉・対面での会議や面談が避けられない場合には、十分な距離を保ちマスクを着用する。 ・密接状態で大声での発声、歌唱、声援、グループワークなどは行わない。	
収容定員が設定されている施設において、利用定員100%で利用する場合	✓欄
必ず全員がマスクを着用する	
大声を出さない	

代表者として、上記事項を参加者全員に確認し周知、徹底した上で施設を利用します。

利用日時： 月 日（ ） 時 分～ 時 分

利用場所：

団体名：

代表者名：

連絡先：（ ） -

○感染防止のため、利用状況によっては施設管理者から利用方法について注意をさせていただく場合がございます。

○今後の感染拡大の状況や施設の利用状況から感染リスクが心配される状況となった場合は、さらなる利用制限や利用停止の措置を取らせていただく場合があります。予めご了承ください。